

町内で製作している工芸品の 工房への支援を

希望者には機会を提供したい



小池 一夫 議員

質問：個人が製作をしている工芸品の工房を把握しているか。

答弁：観光情報誌「POAN(ポアン)」の富士見町に移住した方を紹介するコーナーで、工房を中心に工芸家を紹介してきましたが、全町的にどこに誰がいるかについては把握していません。

質問：これらの工房のファイル、またはマップの作成ができないか。

答弁：詳細に調査することとは難しいと思います。理解の得られた方から観光ホームページなどで紹介することは可能です。

質問：作品の発表の場所、販売等のお手伝いができないか。

答弁：多くの工芸家の方は都市部で展示販売会を行なっていますが、そのお手伝いを町ですることは難しいと考えます。展示の場所としては、博物館などの文化施設を、ぜひお使いください。

□その他の質問
*過去の質問への取り組み状況について



観光情報誌「POAN」とマップイメージ

身体障がい者の救済を

どう考えるか



小林 光 議員

障がい者が自立を目指す

支援をしたい

質問：身障者と生活保護世帯の実状と窮状は。

答弁：町内には身体に障がいをお持ちの方が562人あり、17障害別と級別になっています。また、知的障がいをお持ちの方は113人、精神障がいは45人で、近年微増傾向にあります。その他137人が通院治療中です。生活保護世帯は、21世帯26人、昨年からの経済

状況により15世帯から相談があり、2世帯が受給を開始しました。

質問：リハビリ中の長期療養者への生活保護に頼らない救済は。

答弁：町が目指す支援は障がいの程度によりますが、障がい者が自立することへの支援であり、収入を安易に補てんする事ではないと考えます。

□その他の質問
*次期出馬のテーマは
*パノラマリゾート存続の具体的手法は
*渡辺別荘跡地の購入方針について
*土地開発公社の問題箇所について
*町の産業の窮状をどうするのか

8人の議員がただしました